



人権を考える

本校では、12月4日(月)から10日(日)までを人権週間とし、人権集会や人権に関わる授業などをしました。12月10日が「世界人権デー」となっており、毎年、この時期になると、子供たちと人権について考えることにしています。

12月6日の人権集会では、私から子供たちに以下のような話をしました。

人はそれぞれ、顔もかっこうも性格も気持ちも、何もかも違います。みんな同じというのは、ありえません。この世界に、自分と同じ人間は誰もいない。人間一人一人は違うこと。まずは、一人一人が違うことはとても素晴らしいことなんだと思うことが、「人権を考える上で、大切なこと」なのです。「みんな同じ人間」「人間はみんな違う」日頃からそう思って、誰でも大切に思っていると、どうでしょう。「いじめや差別」などといったことは、起こらないと思いませんか。

皆さんは日頃から、友達に優しくしていますか。悪口を言ったり、差別やいじわるなどをしたりしていませんか。された人は、心に大きなけがをします。心のけがは見えないので、した人は気づきません。でも、された人にとっては、体のけがと同じように痛く、苦しいのです。

ぜひ皆さん、これまで自分が言ったことやしたことを静かに振り返ってみてください。そして、あなたが持っている、あなたの優しい心をもっともっとあなた自身の言葉や行動に出してほしいと思います。優しい心を持った人は、優しい顔で、優しい言葉を話し、優しい行動をします。みなさんの優しい心で、ここにいる全ての人が、毎日笑顔で過ごせる伊良林小学校、笑顔いっぱいの伊良林小学校にしていきましょう。

4年生は、総合的な学習の時間に「みんなが笑顔に暮らすには」というテーマで「福祉」について学んだことを発表しました。目の不自由な人・足の不自由な人・お年寄りの体の変化や暮らし方などについて調べたことや体験したことを中心に、全校児童の前でしっかり発表することができました。

その後、各学年から、自分たちが考えた人権標語の発表がありました。

6年「発言をする前に もう一度自分の言葉再確認 相手が傷つく言葉なのかも」

5年「みつめよう 自分の言葉 考えよう 相手の気持ち」

4年「分かち合おう 福祉でみんな 幸せに」

3年「やめよう知らんぷり 想ぞうしよう 相手の気持ち」

2年「うれしいな みんなであそぶの たのしいな」

1年「ともだちが よろこぶ ふわふわことばを つかおう」

